



IoT/AIを活用した スマートものづくり研究会

< 全3回 開催 >

主催：公益財団法人科学技術交流財団

協力：愛知工研協会

ドイツの「インダストリー4.0」や米国の「インダストリアルインターネット」等、工場に最新の情報技術を適用して、コスト削減や新しい付加価値の創出を目指した取り組みがモノづくり現場を急速に変えています。

本研究会では全3回の講演会により、中小製造業がいかにしてIoTに取り組むかについて、専門家を招聘しご講演いただきます。第1回は製造業における世界的なIoT活用状況を紹介し日本の中小企業はどうすべきか、第2回は中小企業の具体的、現実的なITカイゼンの取り組み方法やツールについて、第3回はITカイゼンを高度化させる新技術（AI等）やモノづくりだけでなく中小企業全体の効率化に資する電話FAXの受発注業務のIT化について解説していただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

《第3回》

日時：平成30年1月17日（水）
13:30 ~ 16:45

場所：ウインクあいち 1202 会議室
（愛知県産業労働センター）
名古屋市中村区名駅4-4-38

※応募多数の場合は、締切日前に受付を終了させていただきます。



（JR・地下鉄・名鉄・近鉄）名古屋駅より
◎JR名古屋駅桜通口から ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
◎ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分
※名駅地下街サンロードからミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコートタワーを経由 徒歩8分

《プログラム》

13:30 開会

13:35 ~ 15:05 スマート工場へのAI活用技術の現状と動向

—精密工学会グランド小田原賞受賞！「傷の気付きアルゴリズム」とAI応用—

講師：中京大学 人工知能高等研究所 教授・所長 奥水大和 氏

注目されているディープラーニングを目視検査に応用する場合、不良品の学習サンプル数が少ないと十分な精度が得られない。新しい「傷の気付き」という熟練検査員の暗黙知・経験知を画像検査に実装することが現場の課題解決に有効な場合もある。本講演では、工業部品の画像検査の事例から、ホットな人工知能のモノづくり応用について解説する。

15:05 ~ 15:15 休憩

15:15 ~ 16:45 労働人口減に対応した中小企業用「IoTツール」構築と

人型汎用ロボットの活用

講師：小島プレス工業株式会社 総務統括部 参事 兼子邦彦 氏

平成28年度経済産業省「スマート工場実証事業」に採択され、中小企業用「IoTツール」を構築した。また、労働人口減は中小企業にとって深刻な問題となっており、その対応策として人型汎用ロボットを導入した。そこで、それらの取組等について紹介する。

17:00 ~ 18:00 交流会（有料1,000円）

◆**申込方法** 下記申込書にご記入の上、**1月10日(水)**までにFAX又はメール(chusyo@astf.or.jp)にてお申込み下さい。
 科学技術交流財団HPからもお申込みいただけます。
 ホームページ：<http://www.astf.or.jp/astf/hukyu/bunya/h29k103.html>

◆**参加費** **全3回分 5,000円/人**
 (研究交流クラブ会員・愛知工研協会会員の方は**3,000円**)

◆**お支払方法** 研究会前日までに、以下の銀行口座にお振込み下さい。
 (振込手数料はご負担願います。)

銀行名：三菱東京UFJ銀行『愛知県庁出張所』(店番号191)
 口座番号：(普通)1031946
 口座名義：コウエキサイダンホウジン カガクギジュツコウリョウサイダン リジチョウ ハマグチミチナリ公益財団法人 科学技術交流財団 理事長 濱口道成

◆**お問い合わせ先** 当財団 業務部 0561-76-8325

第3回 IoT/AIを活用したスマートものづくり研究会 参加申込書

<FAX 0561-21-1651>

(公財)科学技術交流財団 業務部 行 担当:山岸/松田

ふりがな	
会社名	
所在地	〒
ふりがな	
所属・氏名	
交流会 <small>(どちらかに○をつけて下さい)</small>	軽飲食をご用意しております。参加をご希望する方は、 当日、受付にて1,000円をお支払いください。 参加 ・ 不参加 参加者が少数の場合は、中止となりますことをご了承下さい。
連絡先	TEL FAX
	メールアドレス

- ※ ご記入いただいた個人情報、当財団からの各種連絡・情報提供のために利用させていただきます。
- ※ 受講票は発行いたしません。直接会場にお越しください。